

5年生 あゆみの見方

	観点	評価内容
国語	知識 ・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。 ・話し言葉と書き言葉とのちがいに気づいている。 ・漢字とかなを使いわけ、正しく書いたり読んだりできる。 ・思考に関わる語彙を豊かにし、話や文章の中で使うことができる。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。 ・文と文の接続、話や文章の構成や展開などについて理解することができる。 ・敬語を理解し、使い慣れることができる。 ・比喻や反復などの表現の工夫に気づくことができる。 ・文章を音読したり、朗読したりすることができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・原因と結果など、情報と情報の関係について理解することができる。 ・情報と情報との関係づけの仕方、表し方を理解し使うことができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・古文や漢文の言葉の響きやリズムに親しみ、昔の人のものの見方や感じたことがわかる。 ・共通語と方言とのちがいに気づいている。 ・毛筆を使用して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くことができる。 ・文字の大きさや配列、書く速さを意識して書くことができる。 ・目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を意識して書くことができる。 ・日常的に読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気づいている。
	思考 ・ 判断 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や意図に応じて、伝え合う内容を検討し、話の構成を考え、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。 ・話し手の目的や自分の意図に応じて、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。 ・互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にすることができる。 ・目的や意図に応じて、伝える内容を検討し、話の構成や展開を考え、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。 ・文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・叙述や描写をもとに、要旨や心情を捉えることができる。 ・目的に応じて、必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりできる。 ・人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。 ・文章を読んで自分の考えをまとめたり、意見や感想を共有することで自分の考えを広げたりすることができる。
	主体的に 学習に 取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・国語の学習に、よりよく学ぼうと意欲をもち、ねばり強く取り組んでいる。

	観点	評価内容
社会	知識 ・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の国土の様子、農業や水産業における食料生産、工業生産、産業と情報との関わり、我が国の自然環境や自然災害について理解することができる。 ・地図・年表・地球儀などの各種の資料で調べ、まとめることができる。
	思考 ・ 判断 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の大陸と主な海洋、地形や気候に着目して、国土の様子をとらえ、その特色を考え表すことができる。 ・農業や水産業における食料生産の概要をとらえ、食料生産に関わる人々の工夫や努力を考え、表すことができる。 ・工業生産の概要、貿易や運輸の様子をとらえ、工業生産に関わる人々の工夫や努力を考え、表すことができる。 ・放送、新聞などの産業の様子や情報活用の現状をとらえ、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、表すことができる。 ・国土の環境や自然災害の状況、公害防止の取組をとらえ、自然環境との関連や森林資源が果たす役割、公害防止の働きを考え、表すことができる。
	主体的に 学習に 取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会を考え、学習したことをいかし、すすんで問題解決しようとしている。

	観点	評価内容
	知識 ・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・偶数と奇数を分類することができる。 ・約数、倍数について知ることができる。 ・ある数の100倍、10分の1倍などの大きさの数を小数点の位置を移してつくることができる。 ・乗数や除数が小数である場合の小数の除法及び除法の意味について理解することができる。 ・小数の乗法及び除法の計算ができる。また、余りの大きさについて理解することができる。 ・小数の除法及び除法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解することができる。 ・整数及び小数を分数の形に直したり、分数を小数で表したりすることができる。 ・整数の除法の結果は、分数を用いると常に一つの数として表すことができると理解することができる。 ・分数の分子や分母に同じ数を乗除してできる分数は、元の分数と同じ大きさを表すことを理解することができる。 ・分数の相等及び大小について知り、大小を比べることができる。 ・異分母の分数の加法及び減法の計算ができる。 ・数量の関係を表す式についての理解を深めることができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・図形の形や大きさが決まる要素について理解するとともに、図形の合同について理解することができる。 ・多角形や正多角形の基本的な性質を理解することができる。 ・円周率の意味について理解し、それを用いることができる。 ・基本的な角柱や円柱について知る。 ・三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の計算による求め方について理解することができる。 ・体積の単位について知り、立方体及び直方体の体積の計算による求め方について理解することができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な場合について、比例の関係があることを知る。 ・速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解し、それを求めることができる。 ・百分率を用いた表し方を理解し、割合などを求めることができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・円グラフや帯グラフの特徴とそれらの用い方を理解することができる。 ・データの収集や適切な手法の選択など統計的な問題解決の方法を知る。 ・平均の意味について理解することができる。
算数	思考 ・ 判断 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を分類する仕方を考えたり、数の構成について考えたりするとともに、日常生活に生かすことができる。 ・数の表し方の仕組みに着目し、数の相対的な大きさを考察し、計算などに有効に生かすことができる。 ・乗法及び除法の意味に着目し、乗数や除数が小数である場合まで数の範囲を広げて乗法及び除法の意味をとらえなおすとともに、それらの計算の仕方を考えたり、それらを日常生活に生かしたりすることができる。 ・数を構成する単位に着目し、数の相等及び大小関係について考察することができる。 ・分数の表現に着目し、除法の結果の表し方を振り返り、分数の意味をまとめることができる。 ・分数の意味や表現に着目し、計算の仕方考えることができる。 ・2つの数量の対応や変わり方に着目し、簡単な式で表されている関係について考察することができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見だし、その性質を道筋を立てて考え説明したりすることができる。 ・図形を構成する要素に着目し、図形の性質を見だし、その性質を基に既習の図形を捉え直すことができる。 ・図形を構成する要素に着目し、基本図形の面積の求め方を見だすとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導くことができる。 ・体積の単位や図形を構成する要素に着目し、図形の体積の求め方を考えるとともに、体積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察することができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・伴って変わる2つの数量を見いだして、その関係に着目し、表や式を用いて変化の特徴を考察することができる。 ・異種の2つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を考察し、それらを日常生活に生かすことができる。 ・日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係との比べ方を考察し、それを日常生活に生かすことができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結果について多角的に捉え考察することができる。 ・概括的に捉えることに着目し、測定した結果を平均する方法を考察し、それを日常生活に生かすことができる。
	主体的に 学習に 取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・算数の学習に、よりよく学ぼうと意欲をもち、数学的に表現・処理したことをふりかえり、ねばり強く取り組んでいる。

	観点	評価内容
	知識 ・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・物の溶け方が分かる ・振り子の運動の規則性が分かる ・電流がつくる磁力が分かる ・植物の育ち方が分かる ・動物の発生や成長が分かる ・流れる水の動きと土地の変化が分かる ・天気の変化が分かる ・解剖顕微鏡やメスシリンダーなどの器具や機器を正しく使い、実験、観察ができる
理科	思考 ・ 判断 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・物の溶け方の規則性についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現することができる。 ・振り子が1往復する時間に関係する条件について予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現することができる。 ・電流がつくる磁力の強さに関する条件について予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現することができる。 ・植物の発芽、成長及び結実とそれらに関わる条件についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現することができる。 ・動物の発生や成長の様子と経過についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現することができる。 ・流れる水の動きと土地の変化との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現することができる。 ・天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現することができる。
	主体的に 学習に 取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・理科の学習に、よりよく学ぼうと意欲をもち、ねばり強く取り組んでいる。

	観点	評価内容
音楽	知識 ・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱・器楽表現において、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解することができる。 ・多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりについて理解することができる。 ・音楽作りの活動を通して、いろいろな音の響きや組合せの特徴、音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴が生み出す面白さなどと関わらせて理解することができる。 ・鑑賞の活動を通して、曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解することができる。 ・音楽を形づくっている要素および音符、休符、記号や用語について、音楽における働きと関わらせて理解することができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・歌唱表現において範唱を聴いたり、八長調及びイ短調の楽譜を見たりして歌う技能を身につけている。 ・呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身につけている。 ・各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身につけている。 ・器楽において、範奏を聴いたり、八長調及びイ短調の楽譜を見たりして演奏する技能を身につけている。 ・音色や響きに気を付けて、旋律楽器を演奏する技能を身につけている。 ・各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身につけている。 ・条件にもとづいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身につけている。 ・音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身につけている。
	思考 ・ 判断 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図を持つことができる。 ・即興的に表現することや、音を音楽へ構成することを通して、音楽づくりの発想やまとまりを意識した音楽を作ることについて思いや意図を持つことができる。 ・鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見出し、曲全体を味わって聴くことができる。 ・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴きとったことと感じとったこととの関わりについて考えることができる。
	主体的に 学習に 取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとしている。

	観点	評価内容
図工	知識 ・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・形や色などの造形的な特徴について、自分の感覚や活動を通して理解する。 ・造形遊び、絵や立体、工作の活動を通して、材料や用具を活用するとともに、前学年までの経験や技能を生かしたり、方法などを組み合わせや表し方を工夫してついたり、表したりすることができる。
	思考 ・ 判断 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・造形遊びを通して、材料や場所・空間などの持ちようをもとに造形的な活動を思いつくことや、構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら、どのように活動するかについて考えることができる。 ・絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したことなどから、形や色、材料の持ちようなどの感じ、用途などを考えながら、どのように主題を表すかについて考えることができる。 ・表現方法や活動に応じ、材料や用具を活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験を総合的に生かし、表現に適した方法を組み合わせている。 ・鑑賞を通して、親しみのある美術作品、造形的な良さや美しさ、表現の意図や持ちようなどについて、感じ取りたり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めることができる。 ・形や色などの造形的な特徴をもとに、自分のイメージを持つことができる。
	主体的に 学習に 取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・図工の学習に、よりよく学ぼうと意欲をもち、楽しく取り組んでいる。

	観点	評価内容
家庭	知識 ・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長を自覚し、家庭生活と家族の大切さや家庭生活が家族の協力によって営まれていることに気づいている。 ・家庭には、家庭生活を支える仕事があり、たがいに協力し分担する必要があることや生活時間の有効な使い方について理解できる。 ・家族とのふれあいや団らんの大切さについて理解することができる。 ・今までの成長を自覚し、家庭生活をよりよくするための新しい課題をもつ。 ・食事の役割がわかり、日常の食事が大切であることや、日常の食事の仕方について理解できる。 ・調理に必要な材料の分量がわかり、手際よく調理を進めるための調理計画について理解できる。 ・調理に必要な用具や食器を安全で衛生的な取り扱いおよび、加熱調理器具の安全な取り扱い、材料に応じた洗い方、調理に適した切り方やゆで方、後片付けについて理解しているとともに、適切にできる。 ・伝統的な日常食である米飯およびみそ汁の調理の仕方を理解し、適切にできる。 ・衣服の主な働きがわかり、季節や状況に応じた日常着の快適な着方について理解できる。 ・製作に必要な材料や手順がわかり、製作計画について理解できる。 ・手縫いやミシン縫いによる目的に応じた縫い方および用具の安全な取り扱いについて理解し、適切にできる。 ・住まいの主な働きがわかり、季節の変化に合わせた生活の大切さや住まい方について理解できる。 ・住まいの整理・整頓の仕方を理解し、適切にできる。 ・買い物の仕組みや消費者の役割がわかり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解できる。 ・身近な物の選び方、買い方を理解し、購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできる。 ・自分の生活と身近な環境との関わりや環境に配慮した物の使い方などについて理解できる。
	思考 ・ 判断 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭の仕事の計画を考え、工夫することができる。 ・家族の人々とのよりよい関わりについて考え、工夫することができる。 ・おいしく食べるために調理計画を考え、調理の仕方を工夫することができる。 ・日常着の快適な着方や手入れの仕方を考え、工夫することができる。 ・生活を豊かにするために布を用いた物の制作計画を考え、制作を工夫することができる。 ・季節の変化に合わせた住まい方、整理・整頓や清掃の仕方を考え、快適な住まい方を工夫することができる。 ・購入に必要な情報を活用し、身近な物の選び方、買い方を考え、工夫することができる。 ・環境に配慮した生活について物の使い方などを考え、工夫することができる。
	主体的に 学習に 取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭科の学習に、よりよく学ぼうと意欲をもち、ねばり強く取り組んでいる

	観点	評価内容
体育	知識 ・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体の関係に気づいたり、仲間と関わりあったりすることができる。 ・体の動きを高める運動では、ねらいに応じて、体の柔らかさや動きを持続する能力を高めるための運動をすることができる。 ・マット運動では、倒立ブリッジなどの技を安定して行ったり、繰り返したり組み合わせたりすることができる。 ・鉄棒運動では、前方支持回転などの技を行ったり、それらを繰り返したり組み合わせたりすることができる。 ・跳び箱運動では、基本的な技を行ったり、かかえこみ跳びなどの発展的な技を行ったりすることができる。 ・短距離走・リレーでは、一定の距離を全力で走ったり、なめらかなバトンの受け渡しをしたりできる。 ・ハードル走では、ハードルをリズムカルに走り越えることができる。 ・走り幅跳び・走り高跳びでは、リズムカルな助走から踏み切って跳ぶことができる。 ・クロールや平泳ぎでは、続けて長く泳ぐことができる。 ・安全確保につながる運動では、背浮きや浮き沈みをしながら続けて長く浮くことができる。 ・ゴール型ゲームでは、ボール操作とボールを持たないときの動きができる。 ・ネット型ゲームでは、個人やチームによる攻撃と守備ができる。 ・ベースボール型ゲームでは、ボールを打つ攻撃と隊形をとった守備ができる。 ・表現運動では、表したい感じを即興的に踊ったり、簡単なひとまとまりの動きにして踊ったりすることができる。 ・フォークダンスでは、それらの踊り方の特ちょうをとらえ、音楽に合わせて踊ることができる。 ・心の発達および、不安や悩みへの対処について理解することができる。 ・けがの防止について理解することができる。
	思考 ・ 判断 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動において、自分の体の状態や体力に応じて運動の行い方を工夫するとともに、自分や仲間が考えた運動の行い方を伝えることができる。 ・器械運動において、自分の能力に適した課題の解決の仕方や技の組み合わせ方を工夫するとともに、自分や仲間が考えた運動の行い方を伝えることができる。 ・陸上運動において、自分の能力に適した課題の解決の仕方、競争や記録への挑戦の仕方を工夫するとともに、自分や仲間の動きの変化や伸びを見つけたり、考えたりしたことを伝えることができる。 ・水泳運動において、自分の能力に適した課題の解決の仕方、記録への挑戦の仕方を工夫するとともに、自分や仲間の動きの変化や伸びを見つけたり、考えたりしたことを伝えることができる。 ・ボール運動において、ルールを工夫したり、自分やチームの特ちょうに応じた作戦を選んだりするとともに、自分や仲間が考えたことを他者に伝えることができる。 ・表現運動において、自分やグループの課題の解決に向けて、表したい内容や踊りの特ちょうをとらえた練習や発表、交流の仕方を工夫するとともに、自分や仲間が考えたことを伝えることができる。 ・心の健康について、課題を見つけ、その解決に向けて考えたことを説明することができる。 ・けがを防止するために、危険の予測や回避の方法を考え、説明することができる。
	主体的に 学習に 取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と認め合いながら、最後まで努力して学習に取り組んでいる。 ・健康の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に取り組んでいる。

	観点	評価内容
外国語	知識 ・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語の特徴や決まりを理解している。 ・ 自分のことや身近なことについて話される表現や情報を聞き取る技能を身につけている。 ・ 活字体の文字を識別したり、その読み方を発音したりする技能を身につけている。 ・ 自分や相手のことや身近なことについて、語句や表現を使って、自分の考えや気持ちなどを伝え合う技能を身につけている。 ・ 自分や相手のことや身近なことについて、語句や表現を使って、自分の考えや気持ちなどを話す技能を身につけている。 ・ 大文字・小文字の活字体を書く技能を身につけている。
	思考 ・ 判断 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目的や場面などに応じて、身近なことについて話されるのを聴いて、その概要をとらえている。 ・ 目的や場面などに応じて、身近なことや自分や相手のことなどについて書かれた語句や表現を読んで、意味が分かっている。 ・ 目的や場面などに応じて、身近なことや自分や相手のことなどについて、語句や表現を使って自分の考えや気持ちなどを伝え合っている。 ・ 目的や場面などに応じて、身近なことや自分や相手のことなどについて、語句や表現を使って自分の考えや気持ちなどを話している。 ・ 目的や場面などに応じて、身近なことや自分や相手のことなどについて、語句や表現を書き写したり、書いていたりしている。
	主体的に 学習に 取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。